

千葉県婦性会だより

平成 25 年 9 月 1 日

# ふくでん

題字：会長 橋本 照稔

更生保護法人 千葉県婦性会

千葉県千葉市若葉区貝塚町 27 番地 tel 043-231-1610 fax 043-231-1621  
<http://www.chibaken-kiseikai.org> E-mail [kiseikai@abeam.ocn.ne.jp](mailto:kiseikai@abeam.ocn.ne.jp)

皆様には、平素から千葉県婦性会の運営に御理解、御支援を頂き厚く御礼申し上げます。近年、犯罪情勢が悪化し、我が国の安全神話が崩壊する中で、犯罪や非行をした人の再犯・再非行をいかに防ぎ、犯罪や非行のない社会をどのように実現するかが、喫緊の課題になっています。

更生保護においては「更生保護を考える有識者会議」の提言を受けて更生保護の改革が推進され、その影響を更生保護施設も受けております。更生保護施設は、頼るべき親族等がないない刑務所出所者等を一定期間保護し、宿泊場所や食事を提供するとともに必要な生活指導を行うことにより、その円滑な社会復帰を支援し、再犯を防止するという重要な役割を担っております。更生保護施設は、全国に一〇四施設あり、これまでに更生保護施設は法務大臣の認可を



千葉県婦性会  
副理事長  
小畑 哲夫

千葉県婦性会の運営に御協力を

受けた更生保護法人によって運営されてきましたが、更生保護に対する関心の高まりを受け、社会福祉法人や NPO 法人が参入してきています。近年、家族関係の希薄化や経済・雇用情勢の悪化等により、身寄りがなかったり、適切な福祉支援が受けられない高齢者や障害者等自分の力だけでは自立が困難な者が増加しております。

千葉県婦性会においては、大きく進展する更生保護事業の下で、更生保護施設の役割が今まで以上に重要性を増しており、その責務を全うするため、次のような運営方針を打ち出し、それなりの実績を上げております。

**第一**は収容率の向上です。保護観察所や家庭裁判所等関係機関との連携を密にし、被保護者を積極的に受け入れています。処遇困難者も積極的に受け入れ地域生活定着支援センター、病院、福祉施設との連携を密にして、自立退会後の生活の安定に努めております。ちなみに二十四年度の収容率は一一五％で、同規模の施設では全国一の実績の高水準でした。**第二**は処遇機能の充実です。被保護者の処遇は、個々の職員の力量に多くを委ねていますが、処遇に困

難を伴う者が多数に上る中、当施設の持ち味を生かしつつも、計画的、体系的、実践的な処遇を展開するよう職員の自覚を促しております。**第三**は就労指導の徹底と完全就労への取り組みです。協力雇用主の協力により被保護者の大半は就労していますが、不況に対応したり、被保護者の希望を叶えるためにハローワークとも連携を密にしています。

ところで、法務省の新たな施策の中で、当会の運営に大きな影響を与えているのは平成二十四年度から実施されている小規模施設に対する委託事務費の削減と自立困難者の積極的な受入であります。平成二十四年度は施設長を中心に職員の献身的な努力により経営実績を上げることが

『ふくでん』とは千葉県婦性会が過去「千葉福田院」と称したことに因み、名づけたものである。

「福田」とは佛教語で「善い行いの種子を蒔いて、福德の収穫を得る田畑」との意味である。

題字を書いて戴いた成田山新勝寺貫首であり千葉県婦性会会長でもある橋本照稔氏に、この広報誌を「ふくでん」と名付けていただきました。